

本市では、656人の新成人が、大人の仲間入りをしました。平成29年成人式での市長あいさつを抜粋して紹介します。

新成人のみなさん、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

ご家族のみなさん、重ねておめでとうございます。

長久手市の人口は、みなさんが生まれた平成8年、9年は、3万5千人程でしたが、現在は5万7千人程となりました。この20年でまちは大きく変わりました。市の人口は、2050年頃まで増え続けると予測していますが、日本全体を見ると、既に、8割を超える自治体で人口が減少しています。みなさんが60歳になる頃には、日本の人口は、今より3千万人程減って、9千万人になると言われています。

本市は、東洋経済新報社の「住みよさランキング」において、全国2位と住環境の良さが高い評価を受けることから分かるように大変に恵まれています。

このまちで暮らしていると、日本全体が抱える超高齢・人口減少社会の課題が見えなくなりがちですが、ぜひ、全国各地へ旅行等で行かれた際は、本市にも必ず到来する超高齢・人口減少社会に備え、今からすべきこと、自分達でできることは何かあるだろうと想像してみてください。

みなさんの世代は、「モノ」よりも、「コト」、つまり、自ら体験することやつながりなど、無形の価値を大切にすると新聞で読んだことがあります。

これまでの社会は、右肩上がりの成長を目標に、早く、早くと忙しく、周囲の人や自分が暮らす地域に目を向けることが少ない社会でした。人や物を評価する「モノサシ」も、早く、効率的にできることが良いとされる「モノサシ」だけだったように思います。

みなさんも、小学校に上がってから、これまでの間、正解のある問題を解く能力を身に付けるために頑張ってきたのではないのでしょうか。

しかし、みなさんのこれからの人生には、正解は選ぶことも、恋人を選ぶことも、仕事を選ぶことも、みんな違って良いのです。

今は、インターネットからさまざまな情報を得ることができる便利な社会にな



茶話会の様子

ありません。洋服を
住むまちを選ぶこ

りました。しかし、パソコンやスマートフォンの画面を見るばかりでなく、人に会ったり、朝日が昇る美しい景色などを見たりして、感性を磨いて欲しいと思います。人と出会い、交流することは、大変わずらわしいことです。でも、それが、正解のない人生を歩む上で大切なことだと思います。

無形のもの、目に見えないものに価値を見出すことができるみなさんが担っていくこれからの社会は、多様な選択や価値観をお互いに認めることができる素晴らしい社会になると感じています。

最後に、みなさんに2つ、お願いがあります。

今、将来の長久手市をどういうまちにしたいのかを考える計画づくりが始まっています。これまでの計画は、役所やコンサルタントが提案して作ってきました。これからは、みなさんの力を借りて、みなさんの時代に合うものを作りたいと考えています。2階にみえるご家族の方々にも、ぜひ、参加していただきたいと思います。

今朝、実行委員のメンバーから、今日まで10数回の会議を重ねて、苦労もあったけれど、そのおかげで親しくなれたという話を聞きました。一つのをみんなで作るために、悩んだり議論したりすることが、お互いを支え合えるまちづくりのスタートだと思います。

2つ目のお願いです。

長久手市は、この40年間で4万人も人口が増えました。大人たちは、互いに「やあ、元気か？」と声掛けすることが恥ずかしいと思っています。自分の将来、自分の子ども達の将来のために、今から、「こんにちは」「元気ですか？」「大丈夫ですか？」と声掛けができる長久手市にしたいと考えています。

先日、新潟県糸魚川市で大火がありました。幸いにも誰も亡くなりませんでした。今、長久手市で大火や震災があったときはどうでしょうか？

今から、地道にみんなの力を借りて、一緒に温かい長久手を作っていきたいと思っています。

今後、新成人の皆さんが、より広い視野と、深い見識を身に付けられ、持てる力を存分に発揮し、それぞれの舞台で活躍される輝かしい未来に幸多きことを、長久手市が誰も孤独を感じることがない、温かいまちになることを心より祈念して、お祝いの言葉といたします。



成人式実行委員のメンバー